

海田東小学校区



河崎康次さん（畝一丁目）

普段は桜木第一踏切付近で児童らの登下校を見守っています。旧山陽道から踏切を渡って通学する児童が瀬野川を渡る石原橋を利用するのは、黄色の点滅信号のある横断歩道を渡らなければなりません。朝の通勤時間は車が信号無視をすることがあるため、特に気をつけなければなりません。

定年退職後に始めたこのボランティア活動は、早寝早起きの生活リズムを整えてくれますので、自分のためにもなっています。



▲住宅が多いこの地域では、車や自転車と接触しないよう、緑色に塗られた歩行者専用通行帯を歩くよう声をかけています。

海田南小学校区



▲海田南小学校から伸びる坂を下りると広くきれいに整備された「はなみずき通り」があります。信号はなく車のスピードも速いので注意が必要です。

児童の皆さんは元気いっぱいにいさつしてくれますので、毎日楽しくボランティア活動をしています。私の孫は小学校を卒業しましたが、児童からいただいた感謝の手紙を読むたびに、体が元気なうちは続けたいと思います。

防犯や不審者対策などあまり難しく考えていません。児童らと楽しく触れ合うことで、地域の役に立っているのだと思っています。



中島勝好さん（大立町）

海田西小学校区



住吉 充さん（南堀川町）

昨今の自転車マナーは目に余るものがあります。特にこの地域は近隣の高等学校に自転車を通う生徒が多いので、登下校中の児童らと接触しないよう目を配っています。信号のない横断歩道が通学路となっているところがあるので、ボランティアの皆さんで補う形となっています。

また、大人、子どもに関わらず、大きな声であいさつをしています。だんだん浸透してきたのか、最近はこちらからあいさつせずともあいさつを返してくれるようになったのがとてもうれしいです。



▲工場や物流倉庫が多いこの地域は、大型トラックなどが行き交い、朝から晩まで交通量が減りません。積極的に歩道橋を利用しましょう。

町学校教育課では、随時登下校中の子どもを見守る学校安全ボランティアを募集しています。

活動内容◆登下校の時間帯と下校後の子どもの見守りを、活動希望者の可能な場所・時間帯で行います。

申し込み◆学校教育課（加藤会館2階）、または各小・中学校で随時受け付けています。

（参加者には、ボランティア保険に加入していただき、帽子と腕章を貸与します）

詳しくは、学校教育課（☎823-9216 FAX823-9256）まで



地域の子どもは地域で守る

各小学校区の見守りボランティアが児童の登下校を支えています

児童らの登下校時の安全を確保するため、地域の皆さんが見守りボランティア活動を実施しています。先日、普段お世話になっている皆さんへ、児童から感謝の手紙や歌が贈られました。「いつも見守ってくれてありがとう」と元気いっぱいにボランティアの皆さんと触れ合っていました。



海田小学校区



▲国道2号が走る海田小学校前交差点は交通量も多く、歩行者は地下道を利用することになっています。



年盛 晃さん（上市）

この地域は歩道が狭く、低学年の児童らはよく段差につまづいたりします。ひざを擦りむくと痛くて歩けなかつたりするので、おぶつてあげることもあります。防犯カメラの設置など、登下校に必要な処置を施してもらいましたが、歩道の整備もまた必要だと思っています。

こういったボランティア活動は体調管理にも役立ち、趣味であるグラウンドゴルフも楽しく続けられています。